### 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m 圏内海域 > < 1/6 >

(データ集約:3/27)

試料名	採取場所	15000	試料濃度(B q / k g(生)) (半減期)			
(部位)	(地点番号)	採取日	C s - 1 3 4 (約 2 年)	C s - 1 3 7 (約 3 0 年)	C s 合計	
クロソイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年3月8日	ND	ND	ND	
コモンカスベ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年3月8日	190	350	540	
スズキ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年3月8日	120	230	350	
マダラ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年3月8日	26	44	70	
ヒラツメガニ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年3月8日	ND	ND	ND	
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年3月8日	17	31	48	
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年3月8日	16	41	57	
マダラ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成25年3月8日	17	29	46	
アイナメ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成25年2月28日	62	110	172	
ケムシカジカ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成25年2月28日	110	230	340	

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は,「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.0Bq/kg(生)、Cs-137が約4.2Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

# 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m 圏内海域 > < 2/6 >

(データ集約:3/27)

試料名 ( 部位 )	採取場所	1	試料濃度(Bq/kg(生)) (半減期)			
	(地点番号)	採取日	C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計	
コモンカスベ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成25年2月28日	120	220	340	
ババガレイ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成25年2月28日	90	190	280	
ヒラメ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成25年2月28日	52	90	142	
マダラ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成25年2月28日	120	230	350	
クロソイ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成25年2月28日	270	510	780	
コモンカスベ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成25年2月28日	84	170	254	
シロメバル(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月22日	14000	25000	39000	
シロメバル(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月22日	43000	79000	122000	
マコガレイ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月22日	3700	6700	10400	
ムラソイ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月22日	38000	69000	107000	

基準値(平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。 T-S5,T-S7地点の分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

# 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m 圏内海域 > < 3/6 >

(データ集約:3/27)

試料名 ( 部位 )	採取場所	15,000	試料濃度(B q / k g(生)) (半減期)			
	(地点番号)	採取日	C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計	
ムラソイ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月22日	31000	56000	87000	
アイナメ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	9500	17000	26500	
エゾイソアイナメ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	310	540	850	
クロソイ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	33000	60000	93000	
ケムシカジカ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	130	250	380	
シロメバル(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	17000	31000	48000	
ヌマガレイ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	630	1200	1830	
ヒラメ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	130	270	400	
マコガレイ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	340	580	920	
マダラ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月25日	100	230	330	

基準値(平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

# 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m 圏内海域 > < 4/6 >

(データ集約:3/27)

試料名 (部位)	採取場所	15.00	試料濃度(B q / k g(生)) (半減期)			
	(地点番号)	採取日	C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計	
コモンカスベ(筋肉) No.1	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	1100	2100	3200	
マダラ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	ND	15	15	
マダラ(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	ND	63	63	
マダラ(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	91	110	201	
マダラ(筋肉) No.5	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	ND	49	49	
ムラソイ(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	5800	11000	16800	
ムラソイ(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月26日	19000	34000	53000	
シロメバル(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月28日	13000	24000	37000	
マダラ(筋肉) No.6	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年2月28日	ND	59	59	
クサウオ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月1日	12	25	37	

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は ,「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約35Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

# 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m 圏内海域 > < 5/6 >

(データ集約:3/27)

試料名 (部位)	採取場所	15.00	試料濃度(B q / k g(生)) (半減期)			
	(地点番号)	採取日	C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計	
コモンカスベ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月1日	480	960	1440	
コモンカスベ(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月1日	320	510	830	
シロメバル(筋肉) No.5	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月1日	29000	54000	83000	
アイナメ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月4日	100000	190000	290000	
クロソイ(筋肉) No.2	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月4日	58000	110000	168000	
コモンカスベ(筋肉) No.4	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月4日	350	680	1030	
シロメバル(筋肉) No.6	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月4日	25000	46000	71000	
ボラ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月4日	280	580	860	
マゴチ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月4日	250	500	750	
クロソイ(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月5日	180	290	470	

基準値(平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

# 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m 圏内海域 > < 6/6 >

(データ集約:3/27)

試料名 ( 部位 )	+∞ H11 +B €C		試料濃度(Bq/kg(生)) (半減期)				
	採取場所 (地点番号)	採取日	C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約3 0年)	C s 合計		
シロメバル(筋肉) No.7	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月5日	17000	31000	48000		
マコガレイ(筋肉) No.3	1F港湾内(港湾口付近)	平成25年3月5日	790	1500	2290		
アイナメ(筋肉) No.3	1F港湾内(東波除堤付近)	平成25年2月27日	36000	67000	103000		

基準値(平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

### 福島第一原子力発電所20km圏内海域における魚介類の測定結果

【放射性セシウムの最大値による分類(魚種別、H24年10月~)】

- ・放射性セシウム134, 137の合計値 単位:ベクレル/kg(生) ・平成24年10月9日~平成25年3月8日に採取 ・食品基準値(平成24年4月1日以降):100 ベクレル/kg

#### [福島第一原子力発電所20km圏内(同所港湾内を除く)]

魚 類	最大値	最小値	測定回数 (基準値超数)	魚 類	最大値	最小値	測定回数
マコガレイ	1690 (650)	16	36(15)	メジロザメ属	20.2	5.6	3
クロソイ	1470 (500)	ND	13(8)	マアジ	18.9	ND	4
スズキ	(880)	5.9	17(3)	ヤナギムシガレイ	17.9	_	1
コモンカスベ	780 <b>(540)</b>	53	54 (47)	アブラツノザメ	17.3	13	3
アイナメ	450 (221)	15	28 (13)	ブリ	16.3	ND	6
カスザメ	420	8.7	10(7)	シログチ	14.6	8.9	3
ババガレイ	420	16.5	21(12)	カナガシラ	13.6	ND	15
ケムシカジカ	410	31	11(9)	チダイ	12.9	ND	10
ホシガレイ	(410)	165	2 (2)	オオクチイシナギ	12.1	ND	3
ドチザメ	390	270	2 (2)	ヒガンフグ	8.5	ND	2
ヒラメ	350	17.2	53 (15)	イシガキダイ	ND	_	1
マダラ	(350)	4.4	21(1)	ウマヅラハギ	ND	_	2
イシガレイ	212	ND	16(1)	クサウオ	ND	_	9
アカエイ	178	6.4	8(2)	ゴマサバ	ND	_	1
クロダイ	153	35	3(1)	サザナミフグ	ND	_	1
マゴチ	139	31.9	6 (4)	シロザケ	ND	_	3
ホシザメ	121	5.8	14(1)				
ホウボウ	76	4.5	13	イカ類	最大値	最小値	測定回数
ムシガレイ	59	ND	8(2)	エゾハリイカ	ND	_	2
ニベ	57	27.4	9	ジンドウイカ	ND	_	8
ショウサイフグ	48	21.9	3	ヤリイカ	ND	_	2
メイタガレイ	46	ND	8				
マガレイ	38	ND	9	タコ類	最大値	最小値	測定回数
アカシタビラメ	34	_	1	ミズダコ	ND	-	7
ホシエイ	34	ND	4				
マトウダイ	34	4.2	12	甲殼類	最大値	最小値	測定回数
マアナゴ	32	13.7	5	ガザミ	37	ND	20
マダイ	29	ND	7	ヒラツメガニ	23.5	ND	11
マフグ	22.8	10	2				_
キアンコウ	22.6	ND	4		種類数	53	
ギンアナゴ	22.1	18.5	2		内100Bq/kg超	17 (32%)	
(備考)①NDの値は、Cs134	で約3.0ベクレル/kg,	Cs137で約3.1ベク	レル/kg	•	測定回数	519	

(備考)①NDの値は、Cs134で約3.0ベクレル/kg,Cs137で約3.1ベクレル/kg ②最大値欄の括弧内は前回から今回報告までの最大値

種類数	53
内100Bq/kg超	17 (32%)
測定回数	519
内100Bq/kg超	143 (28%)

※括弧内は、100Bq/kgを超えた割合

#### 【放射性セシウムの最大値による分類(魚種別、H24年3~9月)】

- ・放射性セシウム134, 137の合計値 単位:ベクレル/kg(生) ・平成24年3月29日~平成24年9月19日に採取 ・食品基準値(平成24年4月1日以降):100 ベクレル/kg

F	1	ı		I		1	
魚類	最大値	最小値	測定回数 (基準値超数)	魚類	最大値	最小値	測定回数
アイナメ	25800	ND	86(44)	マサバ	14.3	ND	2
シロメバル	1880	540	6 (6)	コウナゴ	12.9	ND	4
マツカワ	1670	690	2 (2)	マフグ	10.2	ND	2
スズキ	1610	33	17 (11)	ソウハチ	8.3	4.1	2
ドチザメ	1430	4.4	9(3)	ブリ	6.5	ND	5
ババガレイ	1260	ND	36 (22)	ニタリ	6	_	1
ヒラメ	1190	5.6	51 (30)	ヒレグロ	4.8	ND	2
コモンカスベ	1000	168	47 (47)	アカガレイ	4.1	_	1
マコガレイ	920	21.3	42 (23)	カガミダイ	ND	_	2
ムラソイ	830	_	1 (1)	スケトウダラ	ND	_	1
ヌマガレイ	810	580	2 (2)	メダイ	ND	_	1
ケムシカジカ	670	25	7 (5)				
クロソイ	620	410	4 (4)	イカ類	最大値	最小値	測定回数
アカエイ	460	55	7(5)	エゾハリイカ	ND	_	5
イシガレイ	390	29	10 (4)	ジンドウイカ	ND	_	9
カスザメ	222	66	4(3)	ヤリイカ	ND	_	3
ホシエイ	205	ND	10 (2)				
マゴチ	187	140	3 (3)	タコ類	最大値	最小値	測定回数
ホシザメ	169	4.7	10(2)	ヤナギダコ	9.1	ND	6
クロダイ	160	94	2(1)	ミズダコ	7.7	ND	13
ニベ	127	38	15(4)	マダコ	ND	_	1
ホウボウ	107	19.9	6(1)				
マダラ	107	16.7	11 (1)	甲殻類	最大値	最小値	測定回数
マガレイ	103	10	8 (1)	ガザミ	40	ND	16
メジロザメ属	93	4.6	8	ヒラツメガニ	26	ND	16
シログチ	69	15	7				
マアナゴ	66	21.4	2				
マトウダイ	63	12.5	11				
ムシガレイ	57	4.5	8				
カナガシラ	53	6.4	21				
メイタガレイ	53	_	1				
アブラツノザメ	50	ND	15				
ナガヅカ	47	16.4	3		<u> </u>	1	Ī
キアンコウ	42	ND	17		種類数	59	
マアジ	38	10.7	5		内100Bq/kg超	24 (41%)	
マダイ	38	ND	8		測定回数	605	
ヤナギムシガレイ	36	21.6	4		内100Bq/kg超	227 (38%)	
チダイ	26	ND	4		※括弧内は、100B	q/kgを超えた割合	
イシカワシラウオ	23	_	1				

(備考)NDの値は、Cs134で約3.1ベクレル/kg,Cs137で約3.3ベクレル/kg

17

ND

2

サメガレイ

【表1-1. 採取点ごとの測定結果(その1)】

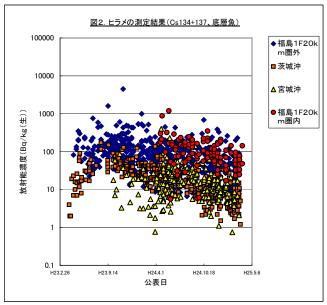
採取点(採取日)	の測定結果(その1)】 採取魚種 (青文字の魚は食品基準値100ベクレル/kg以下)
底1(11/30)	コモンカスペ、ヒラメ、スズキ、マアナゴ、アイナメ、マコガレイ、マガレイ、マトウダイ、カナガシラ、チダイ
底1(12/21)	イシガレイ、スズキ、マコガレイ、ババガレイ、アイナメ、ムシガレイ、マガレイ、ギンアナゴ、メイタガレイ、 ヒラメ、マアナゴ、カナガシラ、チダイ、ウマヅラハギ、ブリ、マアジ
底1(2/4)	ヒラメ、スズキ、イシガレイ、アイナメ、ギンアナゴ、ババガレイ、カナガシラ、マダラ、ジンドウイカ、マガレイ、 ムシガレイ コモンカスベ、マコガレイ
底1(2/21)	コモンカスベ、アイナメ、マダラ、ヒラメ、イシガレイ、カナガシラ、ミズダコ パパガレイ
底2 (11/30)	スズキ、コモンカスベ、アイナメ、メイタガレイ、ヒラメ、マコガレイ、マダイ、マガレイ、チダイ、ホシザメ、マトウダイ、カナガシラ、マアジ
底2(12/21)	コモンカスペ、マコガレイ、ババガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、ヤナギムシガレイ、マアナゴ、マガレイ、ムシガレイ、 オオクチイシナギ、ガザミ、カナガシラ、ジンドウイカ、チダイ、ミズダコ、ヤリイカ スズキ
底2 (2/4)	マ <mark>ダラ、イシガレイ、ババガレイ、マガレイ、スズキ、ヒラメ、カナガシラ、メイタガレイ</mark> コモンカスベ
底2(2/21)	ヒラメ、マコガレイ、マダラ、ババガレイ、スズキ、マガレイ、メイタガレイ、カナガシラ、ムシガレイ コモンカスベ
底3 (11/5)	<mark>イシガレイ、マコガレイ、ヒラメ、ホウポウ、ホシエイ</mark> コモンカスベ、ババガレイ、カスザメ
底3(12/14)	パパガレイ、イシガレイ、スズキ、ヒラメ、ショウサイフグ、カナガシラ、ホウボウ、マダイ、チダイ、ジンドウイカ コモンカスベ、マコガレイ、
底3 (2/4)	ヒラメ、マダラ、スズキ、ケムシカジカ、マコガレイ、マアナゴ、マフグ、カナガシラ、イシガレイ、ミズダコ アイナメ、コモンカスベ
底3(2/18)	スズキ、マコガレイ、ヒラメ、マダラ、イシガレイ、ババガレイ、クロソイ、エゾハリイカ、ジンドウイカ、ヒガンフグ、 ミズダコ コモンカスベ、アイナメ
底4(11/5)	マコガレイ、メイタガレイ、ショウサイフグ、ホシザメ、マトウダイ、イシガレイ、ホシエイ、ホウボウ、マダイ コモンカスベ、ヒラメ
底4(12/14)	ショウサイフグ、アイナメ、ヒラメ、チダイ、カナガシラ、ムシガレイ、ホウボウ、ジンドウイカ コモンカスベ、ババガレイ
底4(2/4)	パパガレイ、ヒラメ、マダラ、マコガレイ、マフグ、ムシガレイ、スズキ、ウマズラハギ コモンカスベ
底4(2/18)	アイナメ、クロソイ、マコガレイ、ヒラメ、マダラ、ムシガレイ、アブラツノザメ、メイタガレイ、ヒガンフグ、カナガシラ、 スズキ、エゾハリイカ、ジンドウイカ、ミズダコ コモンカスベ
刺1(12/20)	<mark>ヒラメ、ヒラツメガニ</mark> クロソイ、コモンカスベ
刺1(1/31)	<mark>ヒラツメガニ</mark> アイナメ、クロソイ、コモンカスベ
刺1(2/7)	コモンカスペ、クロソイ、マダラ
刺1(3/8)	マ <mark>ダラ、クロソイ</mark> コモンカスベ、スズキ

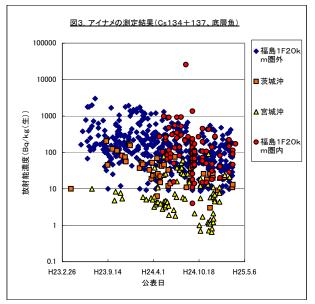
### 【表1-2. 採取点ごとの測定結果(その2)】

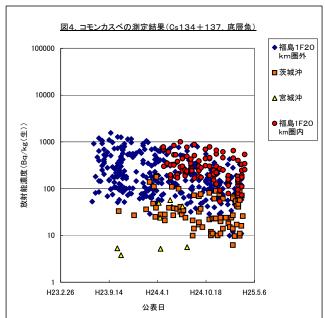
採取点(採取日)	採取魚種 (青文字の魚は食品基準値100ベクレル/kg以下)
刺2(12/20)	パパガレイ、アイナメ、マコガレイ、ヒラメ、アカエイ、キアンコウ、クサウオ ケムシカジカ、コモンカスベ
刺2(1/31)	マダラ、マコガレイ、ヒラメ コモンカスベ
刺2(2/7)	コモンカスベ、マダラ
刺2(3/8)	マコガレイ、ヒラメ、マダラ、ヒラツメガニ
刺3(11/21)	<mark>ホシザメ、シログチ、ブリ、マトウダイ、ガザミ</mark> コモンカスベ、ババガレイ、ヒラメ、カスザメ
刺3(12/13)	<mark>ヒラメ、ホシザメ、スズキ、アカエイ、ホウボウ、ヒラツメガニ、ガザミ、クサウオ、ブリ</mark> マコガレイ、コモンカスベ、ケムシカジカ
刺3(1/29)	<mark>ヒラメ、ケムシカジカ、マダラ、クサウオ</mark> クロソイ、コモンカスベ、ババガレイ、アイナメ
刺3(2/20)	<mark>ヒラメ、マダラ、アブラツノザメ、ヒラツメガニ、クサウオ</mark> <mark>スズキ</mark> 、コモンカスベ、マコガレイ、ケムシカジカ
刺4(11/21)	<mark>ヒラメ、イシガレイ、マコガレイ、マダイ、ホウボウ、ブリ、ホシザメ、ガザミ</mark> ババガレイ、コモンカスベ、アイナメ
刺4(12/13)	<mark>ヒラメ、ホシザメ、クロソイ、キアンコウ、ガザミ、クサウオ</mark> マコガレイ、アイナメ、コモンカスベ、ババガレイ
刺4(1/29)	<mark>ヒラメ、マダラ、クサウオ</mark> クロソイ、ババガレイ、マコガレイ、コモンカスベ
刺4(2/20)	<mark>ヒラメ、マダラ、アブラツノザメ、ヒラツメガニ</mark> マコガレイ、クロソイ、コモンカスベ、ババガレイ、ケムシカジカ
刺5(11/15)	<mark>シログチ</mark> コモンカスベ、ヒラメ、マコガレイ
刺5(12/9)	<mark>カスザメ、マトウダイ</mark> マコガレイ、コモンカスベ、ドチザメ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ
刺5(1/20)	<mark>ホウボウ</mark> コモンカスベ、マコガレイ、クロダイ、ヒラメ、クロソイ
刺5(2/28)	マダラ、ケムシカジカ、コモンカスベ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ
刺7(11/15)	<mark>ヒラメ、アカエイ、ガザミ</mark> コモンカスベ、アイナメ、カスザメ
刺7(12/9)	<del>キアンコウ、マトウダイ</del> コモンカスベ、ヒラメ、カスザメ
刺7(1/20)	<mark>ヒラメ、マダラ、クロダイ、イシガレイ</mark> コモンカスベ、ババガレイ、マコガレイ
刺7(2/28)	クロソイ、コモンカスベ
刺8(11/19)	<mark>ホウボウ、ホシザメ、マトウダイ、ガザミ、ゴマサバ、シロザケ</mark> ケムシカジカ、ヒラメ、マゴチ
刺8(12/17)	ムシガレイ、ホウボウ、マコガレイ、ホシザメ、キアンコウ、ガザミ、クサウオ、ミズダコ コモンカスベ、カスザメ、ヒラメ
刺8(2/10)	<mark>ヒラメ、マダラ、ガザミ、クサウオ</mark> マコガレイ、コモンカスベ
刺8(2/26)	マ <mark>ダラ、ガザミ、クサウオ</mark> <mark>ホシガレイ、コモンカス</mark> ベ、マコガレイ、マゴチ

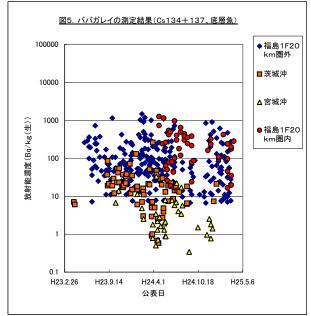


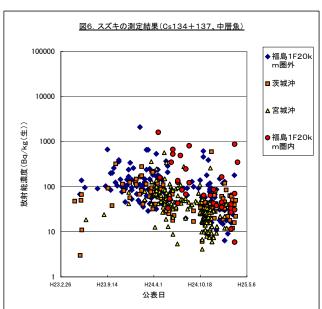
図1. 魚介類調査位置(H24年3月現在)

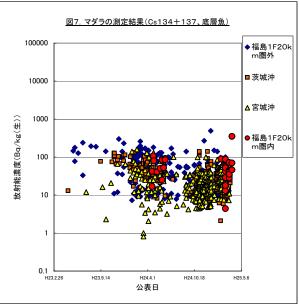












(備考)福島1F20km圏外、茨城沖、宮城沖の測定結果は、水産庁殿HPより入手してグラフに入力した。

# 港湾内の魚類捕獲状況

#### 1.かご漁

捕獲日	捕獲場所	捕獲魚類数	Cs濃度最高の試料	Cs濃度	(Bq/kg	(生))
加及口	1m12c-20171	(匹)	(魚類捕獲場所)	Cs-134	Cs-137	C s 合計
H24. 10. 10	Α	4	マアナゴ(A)	5, 900	9, 600	15, 500
H24. 12. 20	A, C	29	ムラソイ(A)	94, 000	160, 000	254, 000
H25. 1. 18	A, B, C, D	42	ムラソイ(B)	51, 000	90, 000	141, 000
H25. 1. 30	A, B, C, D	28	ムラソイ(B)	75, 000	130, 000	205, 000
H25. 2. 15	A, A*, B, C, D	21	ムラソイ(A*)	97, 000	180, 000	277, 000
H25. 2. 21	E*	6	アイナメ (E*)	260, 000	480, 000	740, 000
H25. 2. 27	A, B, C, D	14	アイナメ(B)	36, 000	67, 000	103, 000
H25. 3. 13	A, B, C, D	41			測定·精査中	

\*シルトフェンス内にて捕獲

#### 2. 港湾口底刺し網

				^ ··	/= /.	/ tL \ \	
捕獲日	捕獲場所	捕獲魚類数	Cs濃度最高の試料	Cs濃度		(生))	
	- г	(匹)		Cs-134	Cs-137	C s 合計	
H25. 2. 12	<u> </u>	154	アイナメ	86, 000	160, 000	246, 000	
H25. 2. 13	<u> </u>	47	ムラソイ	55, 000	99, 000	154, 000	
H25. 2. 15	F	17	アイナメ	50, 000	90, 000	140, 000	
H25. 2. 16	F	8	シロメバル	30, 000	55, 000		
H25. 2. 17	F	6	アイナメ	180, 000	330, 000	510, 000	
H25. 2. 19	F	2	マゴチ	430	830	1, 260	
H25. 2. 20	F	5	ムラソイ	53, 000	95, 000	148, 000	
H25. 2. 21	F	3	シロメバル	57, 000	100, 000	157, 000	
H25. 2. 22	F	44	シロメバル	43, 000	79, 000	122, 000	
H25. 2. 25	F	11	クロソイ	33, 000	60, 000	93, 000	
H25. 2. 26	F	7	ムラソイ	19, 000	34, 000	53, 000	
H25. 2. 28	F	3	シロメバル	13, 000	24, 000	37, 000	
H25. 3. 1	F	5	シロメバル	29, 000	54, 000	83, 000	
H25. 3. 4	F	14	アイナメ	100, 000	190, 000	290, 000	
H25. 3. 5	F	7	シロメバル	17, 000	31, 000	48, 000	
H25. 3. 6	F	23					
H25. 3. 7	F	18					
H25. 3. 8	F	12			測定·精査中		
H25. 3. 9	F	8					
H25. 3. 12	F	18					
H25. 3. 15	F	10					
H25. 3. 16	F	4					
H25, 3, 22	F	21					

#### 3. 港湾内底刺し網漁

C. 18731 1753/107/1/M							
捕獲日	捕獲場所	捕獲魚類数	Cs濃度最高の試料	Cs濃度	(Bq/kg	(生))	
	加坡物川川	(匹)	(魚類捕獲場所)	Cs-134	Cs-137	Csf	1信
H25. 3. 8	С	4			測定·精査中		
H25. 3. 13	A, B, D	5			1	1	J
H25. 3. 15	В	約 30		魚劣化	比のため測定用試料	なし	
H25. 3. 16	G	2			測定·精査中		
H25. 3. 22	B, D	13			I		

捕獲魚類数合計(匹)	約 690
1111 22 111 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	473 000



図. 魚類捕獲場所

A:物揚場付近 B:東波除堤付近

C:南防波堤付近

D:北防波堤付近 E:1~4号取水路開渠部付近

F:港湾口付近

G:港湾中央付近

①H25.2.8より、Aにシルトフェンス、Fに底刺し網を設置。

②H25.2.27より、Aのシルトフェンス内側及びBに底刺し網を連続設

\_\_。 ③H25.3.5よりEにカゴ35個を連続設置。3.13にEにカゴ15個を追加し

て連続設置。

④H25.3.7~8に、Cで底刺し網を実施

⑤H25.3.12~13に、A,B,Dで底刺し網を実施。 ⑥H25.3.15~16に、Gで底刺し網実施。

1

#### 福島第一原子力発電所港湾内魚類対策の概略工程(案)



①: 魚類移動防止 ②: 魚類捕獲 ③: 港湾内海底土の環境改善(浚渫)

②-1:カゴ漁 ②-2:港湾内底刺し網 ----

H24年度 H25年度 8 10 11 12 10 11 12 5 無類捕獲、発電所港湾外への無類移動防止等 (捕獲した無類の数と放射能レベルのトレンド監視を行い、適宜、対策を見直し) 全体工程 ① 魚類移動防止 <港湾口底刺し網設置> 2/8~実施中 <港湾ロブロックフェンス設置 (常設)> 7月中旬~設置予定 フェンス製作 3/20~網設置工事\* 仕切り網による移動防止 <堤防内側仕切り網設置> \* 3/23東波除堤付近に仕切り網設置完了 2/8~シルトフェンス設置、2/27~底刺し網設置 魚類捕獲 <カゴ漁> ②-1 捕獲点5箇所 (物攝場、南·北防波堤、 東波除堤、1~4号取水路 開渠内) 月3回程度 (1ヶ所) < 庭刺し網漁> ②-2 港湾内 2/27~順次実施 <底刺し網漁> 港湾外の南北海域2地点 (実施に向け協議中) ③ 港湾内海底土環境改善 <航路·泊地浚渫> \* 早期着手に向けて社内検討中

# 1F港湾内防波堤周辺魚類移動防止網設置工事 東波除堤部完了写真



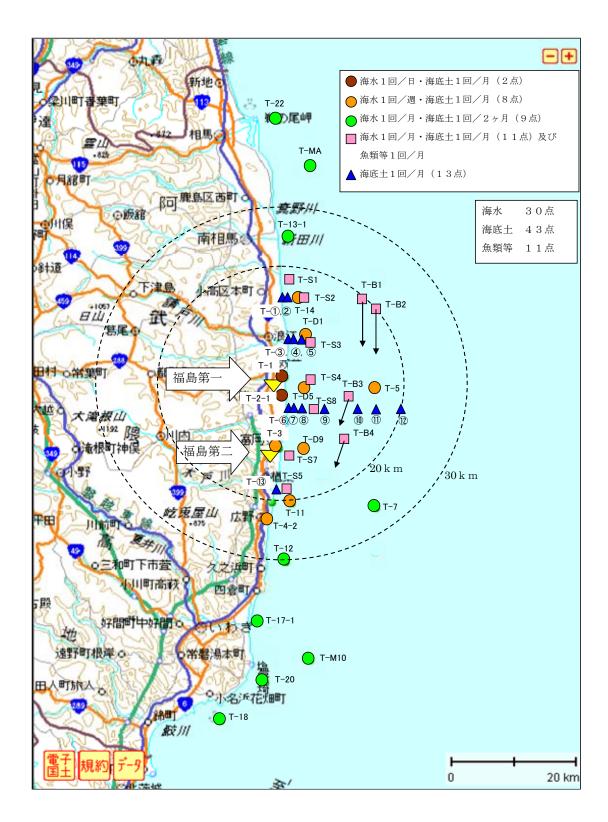
中央部



北側端部

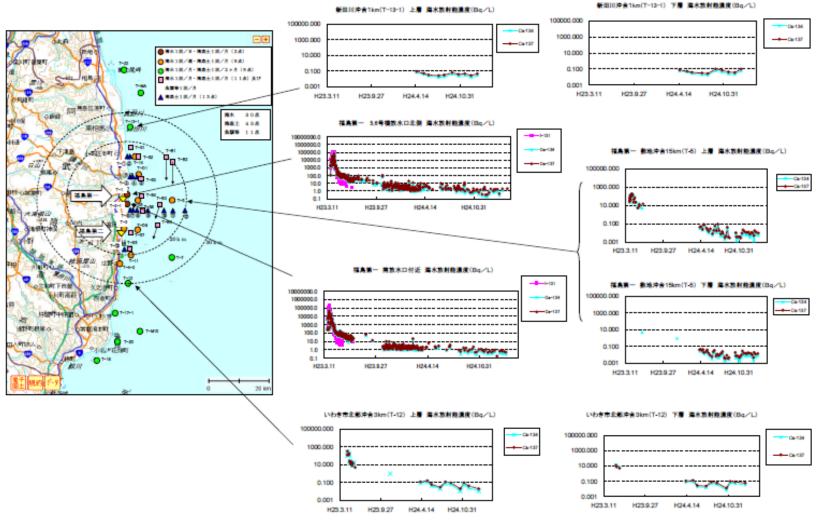


南側端部



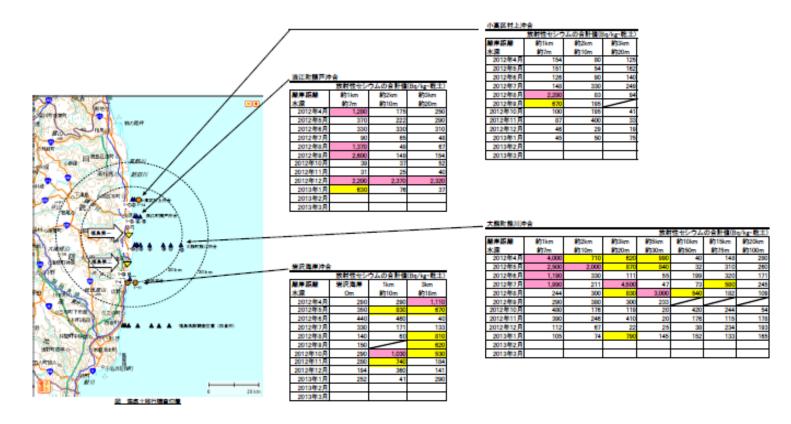
海水等サンプリング位置(福島沿岸、H25年度計画)

#### 福島第一原子力発電所周辺海域の海水中放射性Cs濃度の経時変化



#### 福島第一原子力発電所周辺海域の海底土中放射性Cs濃度の経時変化(2013年1月分まで)





# 2/28福島県組合長会議のご質問に対する 回答について

1. ブロックフェンスの構造について

# 港口部ブロックフェンス設置目的について

現在、港口部は2/8〜底刺し網を実施していますが、船舶の運航に伴い、網の開閉を実施する必要があります.

このため図の箇所に恒久的な魚の出入りを抑制するフェンス状の構造物 (ブロックフェンス) を常設する方向で検討を完了しましたので報告します.





# ブロックフェンス構造について

# 【魚の通過抑制のために構造上工夫した点】

- ①魚のフェンス上部通過抑制のため、港内外側に庇を設置する.
- ②魚のフェンス下部通過抑制のため、ブロックフェンス下端に海底部の隙間調整のためのチェーンを設置する.
- ③金網の網目の大きさは、50mm(水俣湾実績相当)とする.
- 4藻等が付着しにくいよう亜鉛メッキで塗装する.

### 【その他構造に及ぼす要因について】

⑤水深の確保:大型船舶航行水深確保(港口部必要水深7.3m)のため,

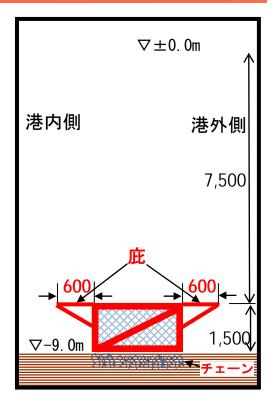
庇を水平に設置し、ブロック高さを1.5mとして、水深

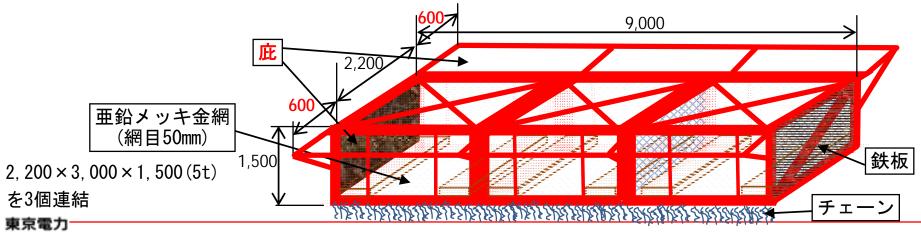
7.5m(海底部の隙間を考慮)とする.

⑥耐波安定性:港口部の高波浪に対してフェンスが移動しないように,

フェンス製作に当たっては、鋼材を使用し、重量を確保

する.

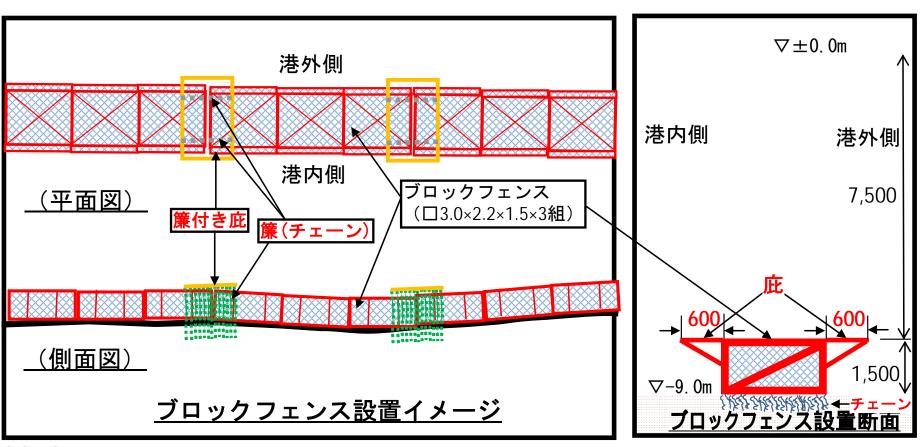




# ブロックフェンス間隙間について

# 【ブロック間隙間について】

- ①魚のブロックフェンス間通過抑制のため、ブロックフェンスを3個ずつ連結して、1列になるように設置する.
- ②魚のブロックフェンス間通過抑制のため、ブロックフェンス間上部に、簾(チェーン)を付けた 庇を設置する.



# 2/28福島県組合長会議のご質問に対する 回答について

2. 港湾内の航路・泊地について

# 港湾内の航路・泊地について

